

少花粉スギモデル林植樹のつどいに参加

花粉症は今や4人に1人が罹病している国民病とも言える病気となっています。岡山県では、花粉量の多い高齢の森林が増加しています。これには森林を再造林することにより若返りを図り、花粉の飛散量を抑制する必要があります。

岡山県では、少花粉スギの普及啓発の取組の一つとして少花粉スギモデル林を設置するとともに、「平成26年度少花粉スギモデル林植樹のつどい」が開催されました。

中国四国整備局（岡山県岡山市）はこのイベントに参加し、少花粉スギの植樹を行いました。

【少花粉スギとは？】

普通の品種に比べ、花粉量が約1%以下のスギを「少花粉スギ」といいます。

岡山県農林水産総合センター森林研究所が開発した少花粉スギの苗木を使用しました。

1. 日時・場所

- (1)新見市 平成26年11月10日(月) 新見市哲多町蚊家地内市有林
- (2)真庭市 平成26年11月25日(火) 真庭市鉄山地内市有林

2. 参加者

- (1)新見市 地元保育園児ほか約100名（林野庁森林整備部整備課長が式典に参加）
- (2)真庭市 地元中学生、鉄山コミュニティ協議会ほか約60名

3. 少花粉スギ植樹本数

- (1)新見市 500本（岡山県勝田郡奈義町産）
- (2)真庭市 500本（ 同上 ）

(1)新見市（市有林）



(2)真庭市（市有林）

